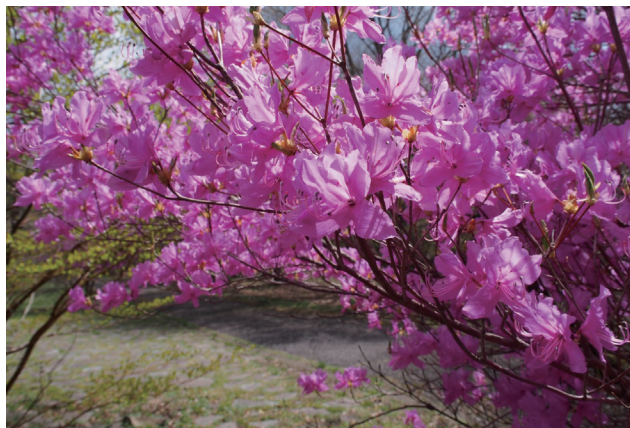


「箱根の春」

箱根ビジターセンター



写真説明… 左:キビタキ 右上:ミツバツツジ 右下:マメザクラ

箱根ビジターセンター周辺の「湖尻園地」を散策すると、箱根に自生する色々な草木に出会えます。箱根では金時山だけに自生するシロヤシオ(別名:ゴヨウツツジ)や、おもに標高1,000m以上の高地に自生するナナカマド・ヒコサンヒメシャラなどの樹木も身近に観察することができます。森・池・原っぱ・湖・ヒノキ林など、様々な環境が組み合わされた「小さな箱根」のようなこの場所にはたくさんの動物達も暮らしていて、四季折々、いつでも気軽に箱根の豊かな自然に親しむことができます。

なかでも「春」は自然の命が最も光り輝く季節です。萌木色の森の中にはミツバツツジの濃い桃色やマメザクラの淡い桃色、アブラチャンの黄色などが色づき、足元にはスマレやタンポポの春色の花畑が広がります。南方の国から渡ってきたばかりのヤブサメやキビタキ・オオルリの美しい囀りや、その姿を間近に見られるのもこの時季ならではの楽しみです。

マスク着用などの「新しい生活様式」を忘れずに、心と体のリフレッシュにお出かけください。(執筆:石原)

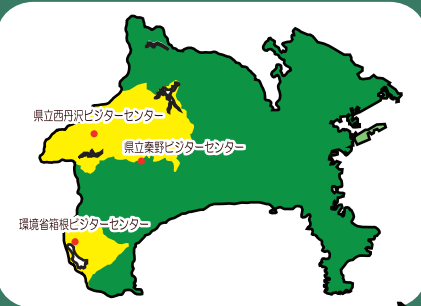
【新型コロナウイルス感染症対策に関するご注意とお願い】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各施設をご利用いただく際は、手指の消毒の徹底・マスクの着用をお願いするとともに、展示室の人数制限をさせていただく場合があります。



箱根ビジターセンター、秦野ビジターセンター、西丹沢ビジターセンターのFacebookページ公開中！ 最新の情報をご覧ください。

自然公園へでかけよう



環境省箱根ビジターセンター

Hakone Visitor Center
〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根 164
Tel 0460-84-9981
<http://hakonevc.sunnyday.jp/>

県立秦野ビジターセンター

Hadano Visitor Center
〒259-1304 秦野市堀山下 1513
Tel 0463-87-9300
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawavc/>

県立西丹沢ビジターセンター

(旧西丹沢自然教室)
Nishi-Tanzawa Visitor Center
〒258-0201 足柄上郡山北町中川 867-2-9
Tel 0465-78-3940
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawavc/>

開館日、開館時間、イベント予定等は各ビジターセンターまでお問合せください。

登山届(最悪のケースを想像する)

西丹沢ビジターセンター

救助された登山者が、皆同じことを口にします。
「まさか自分が救助される(遭難する)とは思わなかった…」

本格的な春の登山シーズンを迎える丹沢。入山時、皆さんは登山届を提出しているのでしょうか。登山届とは、登山ルートや同行者、連絡先等を記入するもので、遭難時の救助活動に利用されます。神奈川県では条例等による登山届の提出義務はありませんが、主要な登山道の入り口では登山届が用意され、記入・投函できるようになっています。最近では、ネット上から届け出できるシステムも複数ある他、警察へ直接提出も可能です。

昨年(令和2年)、西丹沢エリアでは51件の遭難が発生しました。最も多い要因が道迷いで、更に道迷いによる疲労等から転倒、滑落し負傷するケースも多くみられました。多くの場合、警察への通報や提出された登山届により早期解決となりますが、残念ながら登山届が提出されておらず、発見に至らない事案が複数件あるのも事実です。

登山届は、もしもの時にあなたの命をつなぐ最後の砦です。皆さんも、入山時に登山のお守りとして提

出されるようお願いいたします。(執筆:澤田)
※長野県・富山県・岐阜県等の他県では、一部山域において登山届の提出が条例で義務化されている場合があります。



神奈川県松田警察署山岳救助隊

登山者カード		
登山日程	平成 年 月 日 ~ 月 日	
住所	都道府県	市区町村
氏名		
連絡先	☎ () - (携帯)	
人数	人	

谷折り投函先は裏面です

～登山者カードは必ず記入し、投函しましょう～
・体力と経験に応じた無理のない登山計画をたてましょう。
・事前に登山計画を家族などに伝え、やむを得ず計画を変更する際は、連絡しましょう。

登山コースを右面に記入してください。
秦野警察署・秦野市丹沢遭難対策協議会

開始時間(:) 下山時間(:)

登山 経路を線で結んでください。

沢登り 沢に○印をつけてください。
・水無川本谷 ・勤七ノ沢 ・新茅ノ沢
・源次郎沢 ・その他()

丹沢表尾根エリア登山届

桜に集う鳥たち

秦野ビジターセンター

春といえば「桜」を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか?桜は古くから人々に親しまれ、丹沢では3月初め頃のマメザクラの開花から始まり、ヤマザクラ、オオヤマザクラなどが山肌を彩ります。

桜を楽しみにしているのは人だけではなく。身近なところで、お花見で人気のソメイヨシノや早咲きのカワヅザクラ、オカメザクラなどに鳥たちがやってきます。お目当ては花の蜜です。ヒヨドリは花に顔を突っ込んで蜜を舐めますが、花ごと食べている姿も見か

けます。メジロは、花の奥まで届きやすい細長い形の嘴を差しこみます。シジュウカラは、メジロなどと比べて嘴が太く短いので、花の根本に横から穴をあけて中にある蜜を頂きます。スズメは、花をちぎり取って、残った根元から蜜を吸います。開花前の花芽を食べるのは、イカルやウソなどです。

今年はぜひ、鳥たちの食事風景を気にかけて桜の花を楽しんでみませんか。(執筆:山口)



嘴が花粉で黄色くなったヒヨドリ



カワヅザクラの蜜を舐めるメジロ



花の横から穴を開け、蜜を舐めた痕